

一夜で公費 2.7 億円!! K-POP 勉強会 開催

緊急参戦!!



疑問の声続出!!

- 野球場でやるなら椅子もトイレもあるのに?
- 雨天決行? なぜ鹿のいる奈良公園で?
- お金あるなら小中高体育館のエアコン設置を!

一夜で2.7億円? 県民のお金で1人3万円のチケット9000枚作って、県外の人にも無料で配る? なぜ椅子もトイレもあるスタジアムや屋根付きホールでやらないの? 観光業者も土曜日よりウィークデイの方がありがたい? 野外で荒天決行、予備日なし? 日韓50周年の音楽イベントは全部、屋根付き会場。四天王ワッソですら雨天会場の用意がありました。TVや動画の中継もないなら、南部への恩恵は?

反対運動が始まっています!この問題について共に話し合いませんか?

日時 2025年 1/19日 午後1:30~4:00

場所 橿原万葉ホール4F
奈良県橿原市小房町 11-5

どなたでもご参加ください。できれば SNS の個別メールや 090-3867-8200 (奥田寛携帯) へのショートメッセージなどで参加表明があると有難いです。

奥田 寛:前橿原市議会議員 政策研究ネットワーク「なら・未来」代表
〒634-0812 奈良県橿原市今井町 2-5-2 電話 090-3867-8200



自民でも維新でもないから闘える。
県政刷新★情報開示★市民相談

奥田 寛

(おくだひろし)51

090-3867-8200 橿原市今井町2-5-2

デジタルを用いた、
瞬時に開票結果の
わかる投票制度を
推進します。

県政を知るための、勉強会のまとめ動画作成中。近日公開予定。

国際親善のはずが、なぜか対立ムードを招いている K-POP 2, 7億円。

山下知事による拙速な提案が、県議会を真っ二つに割り、県民の中からも反対運動が起こる事態となっています。みんなの意見を十分に聞いた上で全会一致のとれる計画をたてることをしなかったツケが回ってきたというところでしょう。

私は、これまで、国際親善に影響を与えることを懸念して、あえて「反対」と言いきらずに「修正を求める」という表現に徹してきましたが、こと、ここに及んでは、K-POP会場に「反対」のプラカードが乱立する事態になり、親善のはずのイベントが、国際対立を招くことになりかねないと判断しました。令和7年度中の開催は、もはや無理があります。

北朝鮮との有事になった時に、韓国には、日本の味方になってもらいたいと、国際親善の意義を説明していますが、いったん火のついた県民の怒りは沈静化しません。反対運動をやりきって、知事にこの事業を延期させ、その間に県民の得心のいくレベルまで計画を練り直すほかはなく、さもなければ、かえって親善を損なうことになるものと考えます。

檜原市の一般会計のうち、市税収入はせいぜい1/3。他は国や県からのお金です。

山下知事は、知事選挙において0, 1, 2歳の保育料の無償化を公約に掲げていました。未だそれは実現していませんが、県知事の立場で市町村事務である保育の無償化を宣言するということは、県のお金を市町村に支出することを約束していることとなります。逆に言うならば、市町村は、財政難で苦しんでいるならば、もっと積極的に県に頼るべきなのです。

財源は、県にある！ 県にお金が余っているなら、県立学校に限らず、学校のエアコン設置、保育料の完全無償化、家庭育児への保育料と同等の支援、待機児童の解消などの喫緊の課題につき、県の補助を求めます。

思えば、病院前新駅も、国民スポーツ大会も、運転免許センターも、県の事情が檜原市の都市計画に大きな停滞を招いてきたわけです。県政を知らずには、市政を語れない時代に突入しています。財源のない、いかなる良い提案も、実現は困難です。

あえて、市の中だけで財源を探すのではなく、県を県民が動かし、県民を守るためのお金を、県が市を通じて支出するという考え方も出来るのではないのでしょうか。

山下知事は、県立学校についてのみ、県のお金でエアコンを約束しているようですが、学校に通う子どもや保護者の目からすれば、そのような縦割り行政は、理解しがたいことでしょう。

思えば、今まで、私たちにとって、県政は遠すぎました。国政ほど話題性のある報道があるでもなく、市政ほど身近でもなく、なかなか興味がわかない。財政が良いのか悪いのかも分からないから、気軽に補助を求めていいのかも分からない。民主主義を担う私たちの「不得意な科目」「苦手な分野」。

しかし、近年は、むしろ県政が市町村との話を急に反故にする例もあり、放ってはおけなくなってきました。

一例をあげれば、病院前新駅の前に出来る予定のアリーナです。5000人の観客数は、今回のK-POP問題でも分かる通り、明らかに小さすぎます。最低でも1万人分の客席数が必要です。せっかくの良い事業も、よく研究せずに許してしまうと台無しになります。奥田寛は、奈良県知事選挙の候補者の政策比較を行い、動画配信することから初め、県議会議員から指導を頂きながら、県政と市政の関わりを仲間たちと研究し、県政刷新のための提案を続けてきました。県を理解した上で、全体の利益と、市町村の個別の利益の最適化を図ります。